

甲信の国境の要 武川へむかう!



北杜市武川町周辺には武川衆山高氏と柳澤氏が、今でも彼らの痕跡が各地に残っている。戦国時代に「鬼美濃」と呼ばれ、武田氏家臣の馬場(教来石)信春も武川衆の出自である。

展望台に登れば、長大な七里岩が目の前にドーンとそびえたっています。

中山砦への道のりには猿などの獣がいるので注意。熊除けのすずは必須!

武川衆とは

武田信義の子孫一条時信を始祖とした地域集団で、北杜市から韮崎市の釜無川右岸の地域に拠点を展開したことから武川衆と呼ばれた。時信は子どもたちを教来石や山高、青木などの地域に分け、それぞれの地域の名前を名乗り、今でもその地名が残っている。彼らは武田氏の家臣であったが、天正壬午の乱ではいち早く、徳川氏に味方し、戦功をあげている。その後も徳川氏に付き従う一族もあり、柳沢氏は、江戸幕府の5代将軍徳川綱吉の側用人を務めた柳沢吉保を輩出した。柳沢吉保、吉里親子は甲府城主として甲斐国を治めた。

③② 中山砦跡
釜無川沿岸の道を見渡せる位置にある山の頂上に造られた砦。主郭に高い土塁が残っている。天正壬午の乱では武川衆がこの砦に陣取って北条勢を破っている。北杜市指定史跡である。

スタート
神代公園
200m 3分



実相寺

4.8km
90分

③⑦ 萬休院
馬場信春の子の昌房が開いたとされる寺院。国の天然記念物の松が以前、植えられていたが、枯れてしまい、今は三代目の松が成長中。



萬休院

2km
37分

ゴール
神代公園
2.5km 40分



柳澤氏発祥の地

③⑧ 実相寺
武川衆のひとつ山高氏が居住したとされ、本堂の裏手に土塁が残っている。境内には国の天然記念物の山高神代ザクラと呼ばれる桜があり、春には多くの観光客が訪れる名所。

900m
16分



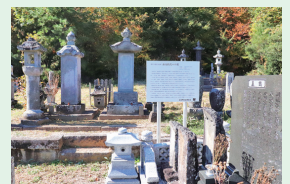
幸橙神社

③④ 柳澤氏発祥の地
度重なる洪水でその痕跡はわからないが、武川の地には柳澤氏に関連する伝承が伝えられている。

900m
16分

③③ 柳澤寺跡
柳澤氏の創建と思われる、境内の六地藏石幢は明應五(1496)年に柳澤信興によって建立されたと考えられている。

1.9km
35分



高龍寺の山高氏代々の墓

③⑤ 高龍寺
山高親重が再興した寺院。北杜市指定文化財(建造物)である山高氏の代々の墓がある。

500m
2分

山高神代ザクラは、全国でも有数の桜スポット!



中山砦跡遠景

駒城郵便局

大武川

北杜市立武川中学校

神代公園

スタート
ゴール

広域農道

墓地

「フレンドパークむかわ」などの案内看板

中山砦案内看板

中山展望台